

Zoom Up

学校給食に厚木産の米や野菜を

地場農産物の提供機会を増加

食への関心を高めるため、市では学校給食の献立に地場農産物を取り入れる「パクパクあつぎ産デー（以下あつぎ産デー）」を設けています。2学期からはあつぎ産デーの回数を増やし、新たに月1回の「あつぎ産米」の提供もスタート。市内の農産物を味わう機会を増やし、食育を進めます。

学校給食は、栄養バランスが取れた食事による健康増進や食習慣の形成など、子どもの体づくりや食育に大切な役割を担っています。市では、食への興味や関心を育むため、2008年から市内で採れたニンジンや大根、ジャガイモ、小松菜などの野菜を献立に取り入れたあつぎ産デーを開始。2学期からは、地場農産物の使用を拡大します。

地元食材を身近に

拡大の対象は、市立全小・中学校です。子どもたちに地元食材をより身近

に感じてもらうため、市内で収穫した「あつぎ産米」を使った給食を月1回提供。さらに、これまで月3回程度実施していたあつぎ産デーを月5回に増やします（左欄参照）。生産者が分かるため、新鮮な野菜・果物を安心して食べられます。使用する地場野菜は、JAあつぎと各地域の農家の協力を経て仕入れるため、地産地消の促進や地域とのつながりも深められています。

市ではあつぎ産デー以外にも、季節の行事食や古くから伝わる郷土食などを給食で提供しています。昨年9月には最新の調理設備などを導入した新しい学校給食センターもオープンしました。今後も安心・安全でおいしい給食を提供し、子どもたちの健やかな成長を支えていきます。

心身の成長の土台を

ことを知り、食べ物や生産者への感謝の気持ちを持ってほしい」と話します。



1954年から提供が始まった厚木の学校給食

地場農産物の使用を拡大

新 9月から月1回、市内で収穫された「あつぎ産米」による米飯給食を実施

増 「パクパクあつぎ産デー」の実施を月3回程度から月5回程度に増加



《パクパクあつぎ産デーとは》

市立小・中学校の給食に地場農産物を取り入れた献立の日。地元食材を使用し、子どもたちへの食育を推進しています。

《主な農産物》

大根、タマネギ、キャベツ、ジャガイモ、小松菜、里芋、白菜、ニンジンなど



詳しくはこちら

☎学校給食課 ☎225-2668

新型コロナワクチン接種のお知らせ

※情報は8月17日時点

国の方針に基づき、集団接種は縮小し個別接種を中心とした体制に移行するため、個別接種を検討してください。

令和5年秋開始接種（9月20日～）

初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方を対象にオミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施します。

《接種券》①3～6回目未接種の方＝手元の接種券を使用②令和4年秋・5年春開始接種を6月までに接種済みの方＝9月上旬に発送。以降、最終接種日から3カ月経過する月末に発送 ※集団接種は12歳以上のみ

【個別接種】《期間》9月20日～3月 《場所》市内約60医療機関

《ワクチン》ファイザー・モデルナ

【集団接種】《期間》10月18日～11月11日の夜間を中心に12日間

《場所》保健福祉センター 《ワクチン》モデルナ

☎いずれも接種券に同封するチラシや市HPに掲載。

令和5年春開始接種（9月19日まで延長）

感染時に重症化リスクが高い方、医療従事者などを対象に実施しています。

《対象》初回接種が完了し、最終接種日から3カ月経過した①65歳以上②基礎疾患のある5～64歳③医療従事者、高齢者・障害者施設従事者

【個別接種】《場所》市内54医療機関 《ワクチン》ファイザーBA.4-5

☎送付済みの接種券に同封のチラシや市HPに掲載。

☎市ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

入場無料

あつぎSDGsフェスティバル

体験ブースや展示など、子どもから大人まで楽しみながらSDGsを学べるイベントです。

☎企画政策課 ☎225-2450

《日時》9月24日 10～16時

《場所》あつぎ市民交流プラザ

《内容》eスポーツ交流会、SDGsすごろく体験、クイズラリー、間伐材を使った工作、VRで体験するSDGs、子どもたちの絵の展示（青空おやつ提供）、まちのコイン「アユモ」関連ブースなど

☎不要。



詳しくはこちら



昨年開催したイベントの様子

愛TV 9/1～



まちのコイン

まちのコイン アユモ

楽しみながらSDGsを実践できるスマートフォンアプリです。環境や地域に良いことをするとコインがたまり、市内店舗などでお得な体験に使えます。



詳しくはこちら